



令和4年5月12日

株式会社 中国銀行

「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」の導入について ～ 銀行業務のペーパーレス化・印鑑レス化を目指す取組み ～

当行は、営業店業務におけるペーパーレス化・印鑑レス化を実現するため、「TSUBASAアライアンス」※で連携する千葉銀行（頭取 米本 努）、日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長執行役員 山口 明夫）と共同開発した「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」を、令和4年4月18日（月）に導入しました。

本システム導入により、新規口座開設や届出事項変更など、現在すでにタブレットで受付しているペーパーレス対象業務の範囲をさらに拡大することで、お客さまの各種書類への記入負担をこれまでよりもさらに軽減してまいります。

また、受付後の銀行内部の手続きに汎用的な電子ワークフローの仕組みを取り入れ、調査・承認・記録のプロセスを、完全ペーパーレス・印鑑レスで画面上にて実施できるように改めます。

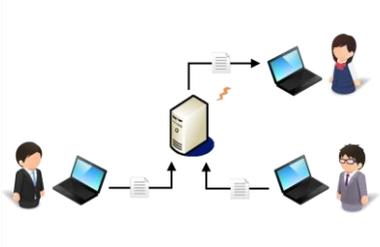
このように紙と人への依存度を下げることにより、銀行内部での手続きにかかる時間を短縮できるだけでなく、事務の精度も向上しますので、結果的にお客さまが店頭でお待ちいただく時間の短縮にもつながります。

本システムは「汎用的な」電子ワークフローの仕組みですので、「営業店の窓口で受付した取引」にとどまらず、今後はホームページや「ちゅうぎんアプリ」など「WEBで受付する取引」の後続手続きにも適用範囲を拡張し、営業店・本部を問わずバックオフィス業務のペーパーレス・印鑑レス化を強力に推進してまいります。

当行は、中期経営計画において「デジタル戦略の強化」に重点的に取り組んでいます。今後もお客さま向けサービス、業務効率化などあらゆる分野でデジタル技術を活用した施策を積極的に展開してまいります。

※当行、千葉銀行、第四北越銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。

「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」の導入効果の例

| | 受 付 | 承 認 | 輸送・保管 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導 入 前 | タブレット受付システム  | 紙と印鑑で承認・記録  | 紙の輸送が必要  |
| 導 入 後 | タブレット受付システム  | 画面上で承認・記録  | 離れた場所でも同時に業務可能  |

- 銀行窓口におけるお客さまからの各種申込受付については、既にタブレット受付システム（TSUBASA Smile）によってペーパーレス化されていました。
- 窓口で受付した後の銀行内部の事務手続き方法として、これまでは紙に押印することで承認したことを記録していましたが、画面上で電子ワークフローを承認する方法に改めます。
- これによって、本部集中化や書類の保管のために紙を輸送する必要がなくなり、離れた場所においても同時に業務をすることができるようになります。
- 本システム導入により「ペーパーレスでの受付可能業務を内製で柔軟に拡大すること」が可能になるため、順次対象業務を拡大していきます。

<導入前>

普通預金新規口座開設、届出事項変更届、自動送金サービスなど約25業務

<導入後>

キャッシュカード払戻限度額変更・解除届、積立定期預金口座振替変更依頼書、振込変更・組戻依頼書など約80業務を追加予定

以 上